



# Bob Reeves

## C2J (Classic to Jazz)

～ これまでにないタイプのマウスピース～

「C2J」は音程、吹奏感などを犠牲にすることなく、ダークで温かみのあるフリーゲルホルンのようなサウンドを可能にすべくデザインされたマウスピースです。

### モデル 種

40C2J	エルカ-12C・マウンテン-10 1/2C相当 マウンテン-10 1/2Cの感触 (15.9mm)
41C2J	エルカ-18C・マウンテン-107C相当 マウンテン-107Cの感触 (16.3mm)
42C2J	エルカ-17EW相当 エルカ-13C・6Cの感触 (16.7mm)
43C2J	ニューヨーク相当 エルカ-12 3/4Cの感触 (16.7mm)
43N C2J Narrow rim	エルカ-17D・マウンテン-106C相当 マウンテン-106Cの感触 (17.1mm)
43W C2J Cushion rim	43と同一のクッションリム (17.1mm)
43.5C2J	エルカ-13C/5C相当 エルカ-15Cの感触 (17.3mm)



西海岸を代表するクラフトマンであるボブ・リーブスのキャリアは6年間、海軍で熟練機械工として工具製作に従事したことからはじめます。退役後は当時パーバークにあったエルデン・ベンジ社にてベルや工具製造を担当し、楽器製作の全工程を学びました。また同時に名工として名高いキャロル・パーピアンズのもとでマウスピース製作の技能を修得しました。この2つのトップ・ブランドに携わることで生まれた独自のアイデアを形にすべく、1968年4月に工房を設置。現在はわずか5人のスタッフとともに、プレイヤーの悩みを解決するという開業以来変らぬ理念を掲げ、日夜研究を続けています。

アルトロー・サンドバルからの「フリーゲルのようにダークなサウンドのするトランペットマウスピース」という依頼に応じてデザインさせたマウスピース。ジャズだけでなくクラシック(B管・C管)でも問題なく使用できるよう随所に工夫がなされています。非常に深いカップ形状と音程を重視した結果採用されたマウスピース全長の短さは特徴的です。オーケストラ奏者からはマラー 3番や 9番などで要求されるようなダークなサウンドを出すことができると好評を得ています。また、ジャズ奏者はソロやバラードなどで用いることが多く、フリーゲルの代用として使うプレイヤーも少なくありません。

「C2J」の意味は当初「Choral to Jazz」を示していましたが、アメリカではシンフォニー奏者の使用が多いことから「Classic to Jazz」と現在はよばれています。



\*銀メッキ仕上げ。スクルーリム式 (現在は2ピースのみの生産となっております)

国内希望小売価格 ¥25,200

ご案内 商品の改良等により 予告なく仕様や価格の変更が行われる場合がございます。 2012/04/0現在

販売店

輸入販売元

眞田貿易有限公司

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-3-7 眞田ビル 2F

TEL: 03-5480-2678 FAX: 03-5480-2469

http://www.sanada-co.jp/